

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公開番号】特開2004-204846(P2004-204846A)

【公開日】平成16年7月22日(2004.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2004-028

【出願番号】特願2003-421876(P2003-421876)

【国際特許分類】

F 0 2 C 5/10 (2006.01)

F 0 2 K 7/04 (2006.01)

F 2 3 R 7/00 (2006.01)

【F I】

F 0 2 C 5/10

F 0 2 K 7/04

F 2 3 R 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月19日(2006.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

可変サイクルターボファンラムジェットエンジンは、低亜音速マッハ数から約マッハ6の高超音速マッハ数の間の航空機飛行速度を提供するために使用される。特許文献1に記載されるような周知のエンジンは、コアエンジンシステム及びデュアルモードオーグメンタを含む。デュアルモードオーグメンタは、追加加熱を与えて、コアエンジンシステムから流出する空気流を排気し、エンジン推力を増加させる。コアエンジンシステムは、動力を与えてファンアセンブリを駆動し、通常、コンプレッサ、燃焼器、高圧タービン及び低圧タービンを直列、すなわち軸流関係に備える。デュアルモードオーグメンタは、コアエンジンの下流に位置し、コアエンジン及びコアエンジンを包囲するバイパスダクトから空気の供給を受ける。しかしながら、オーグメンタは化学量論比によって推力増加レベルに限定され、そのため、エンジンが広範囲の動作飛行速度にわたって効率的に動作するために、いくつかの異なる燃焼システムが必要とされる。

【特許文献1】米国特許5,694,768号明細書

【特許文献2】米国特許2635420号明細書

【特許文献3】米国特許2705396号明細書

【特許文献4】米国特許3726091号明細書

【特許文献5】米国特許3916621号明細書

【特許文献6】米国特許4312185号明細書

【特許文献7】米国特許5076053号明細書

【特許文献8】米国特許5513489号明細書

【特許文献9】米国特許5694768号明細書

【特許文献10】米国特許5873240号明細書

【特許文献11】米国特許5937635号明細書

【特許文献12】米国特許6003301号明細書

【特許文献13】米国特許6442930号明細書

【特許文献14】米国特許6477829号明細書

【特許文献15】米国特許 6 5 5 0 2 3 5 号明細書  
【特許文献16】米国特許 6 6 3 7 1 8 7 号明細書  
【特許文献17】米国特許 6 6 6 6 0 1 8 号明細書  
【特許文献18】WO 87 / 0 6 9 7 6 号明細書